

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご感想・ご意見を紹介します。まず、特集「社会の未来を拓くネットワーク情報共有空間」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「情報共有空間における協同」について：この記事はこれまでの研究の流れを踏まえた枠組提案であり、グループウェアシステム開発者に対する理論的基盤を与える貴重な成果です。コーディネーション理論など他の理論的枠組との位置づけが分かりにくかったので、この点を明確にして、研究会等でご発表いただきたいと希望します。（匿名希望）

■「情報共有空間における協同」について：結語の「協同には技術指向ではなく人間指向が重要」に賛成です。（岩本茂子）

■「情報共有空間のためのウェアラブルコンピューティング」について：塚本昌彦教授の活動には興味があるが、具体的な成果例が一般にはあまり認知されていないと思う。一般に使用可能な機器類のセットがあれば面白いと思う。ウェアラブルコンピューティングに関する追加のレポートがあればよいと思います。（匿名希望）

■「情報共有空間としての新しいWebの胎動」について：コンピュータは集中と分散の歴史を繰り返してきた。Webはバーチャルな集中であるが、物理的には分散である。これからは、集中・分散という言葉は死語になるかもしれない。（鹿島鉄雄）

解説「センサはWebを超える 省力化から知覚化へ」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■結構衝撃的でした。「『ライフ顕微鏡』による約3カ月の活動度データ」(図-8)は鳥瞰図的な新しい視点で新鮮でした。（岩本茂子）

■とても読み応えのある記事でしたが、誤植を見つけました。Coveyの著書は『7つの週間』ではなく『7つの習慣』です。（根津芳香）

■面白く拝読しました。センサで自分の行動記録等を自動的に収集・知覚化できるようになると、仕事に費やし

ている時間や余暇時間などの総時間数やその配置の把握が容易になり、その適正配分・配置などの計算に役立てることができるかもしれないと感じました。それにしても、センサからの大量のデータをどのように分析・知覚化するかが今後の大きな課題となりそうですね。

（匿名希望）

■朝晩の体重測定ダイエットと、1日の時間の使い方をチェックする「時省簿」は私も試したことがあるので、「センサによる知覚化の実例」にあげられた著者による実際のデータが興味深かったです。ただ、前半部分の「これをさらに超える変化を今後10年に起こすのがセンサとそのネットワークである」等、まだ起きていない未来の事柄についての断定的表現や、新たなセンサの登場によってもたらされるであろう変化を「カンブリア紀」に例える部分などには少々アクの強さも感じられました。

（匿名希望）

■「センサはWebを超える」という挑戦的なメッセージが与えられた同記事は大変興味深いものでした。自分の関心事とクロスしていることもあります。ライフログデータの活用に関心している情報処理の流れを見たような気がしました。（平川正人）

連載「情報学を創る」一科研プロジェクトがめざしたものの『コンテンツの生産・活用に関する研究一科研「情報学」プロジェクトのコンテンツ研究を振り返って一』につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■先日、東大で開催されたT-FaNT07というフォーラムで話し合われたことと重なるところがあり、講演の内容とあわせて理解が深まった。Kiwiについては意識していないが、よく用いられる表現を抽出するのに役立ち、言語研究にとっても有益なシステムだと思う。（匿名希望）

■「科研」は、大学の研究者にはなじみのあるものですが、企業の方には必ずしも身近なものではないようです。「科研」それ自体の説明もあったほうがよかったのではないかと思います。JABEEについても、科研と同じようなことがいえ、中小企業の方には必ずしも知られているとは限らないような印象を持っています。中小企業向けに分かりやすくJABEEの意義を説明する必要があると感じています。（水野光朗）

連載「これからの情報処理学会『IT実務者への展開一英国学会に見る産学活動とビジョンより』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■BCSの存在は知っていましたが、その実態は初めて知りました。また、会員数の増加には驚きでした。ただ、日本の場合、情報処理技術者試験等の資格試験は学会とはリンクしていないので、情報処理学会独自の方策を探っていかなければならないのでしょう。（匿名希望）

■この記事は、学会そのものについて分析したもので、今までの貴誌にはなかったタイプの論考であると思う。残念だったのは男女比に言及されていない点である。女性の理工学系への進出が進んでいる今、この観点から、英国と日本ではどのような違いがあるか知りたかった。
(匿名希望)

■英国学会の活動は、興味深いものがありました。産業界はなんとなく見えるのですが、学会活動は参考になるものがあります。国民性など色々な点での相違はあると思いますが、参考になると思います。
(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「連載：これからの情報処理学会」について：学会員増に対する石田先生の洞察に感服しました。平川さんの記事とあわせて考えさせられました。
(黒田幸明)

■「コラム：研究会千夜一夜」について：DPS研究会の活力がひしひしと伝わってきました。HI研究会はもう少しHIを考慮して原稿を書いていただきたかったです。
(黒田幸明)

■「書評：ソフトウェアエンジニアリング論文集 80's デマルコ・セレクション」について：早速注文しました。80年代に発表された記念碑的論文の論文集というのは魅力的です。
(岩本茂子)

■「コラム：標準化よもやま話『大学院教育における“国際標準化戦略論”』」について：国際標準化戦略論の講義での筆者の知見と感想が書かれているが同意する。大学とのさらなる連携が必要であると感じた。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■産学連携研究の成功事例を特集で紹介していただければと思います。
(黒田幸明)

■Windows Vista の特徴、性能を紹介してほしい。
(匿名希望)

■特集記事以外の部分を、どのように魅力あるものにするかが、課題だと思います。
(匿名希望)

【本欄担当 松尾健史、大城正典／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

* ご意見をお寄せください!! *

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4805.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「社会的課題に挑む情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-E.html	5月15日(火)		
	論文誌「新しいパラダイムの中での分散システム/インターネット運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-F.html	5月28日(月)		
	論文誌「イノベーションプロセスのスタディ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-H.html	6月30日(土)		
5月14日(月)～	第159回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	2月28日(水)	当日のみ	東京大学
5月15日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CVIM159.html			生産技術研究所
5月17日(木)	第64回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS64.html	3月22日(木)	当日のみ	大阪大学
5月17日(木)～	第41回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会	3月17日(土)	当日のみ	豊中キャンパス
5月18日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL41.html			沖縄県青年会館
5月19日(土)	第89回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE89.html	3月31日(土)	当日のみ	桃山学院大学 (大阪府和泉市)
5月22日(火)	関西支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			大阪大学 中之島センター
5月23日(水)	第14回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/UBI14.html	3月16日(金)	当日のみ	立命館大学びわこ・ くさつキャンパス
5月23日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2007		早期割引	学術総合センター
5月25日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SACSIS2007.html		5月11日(金)まで	
5月24日(木)～	第179回自然言語処理・第66回音声言語情報処理合同研究発表会	3月15日(木)	当日のみ	法政大学
5月25日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL179SLP66.html			
5月25日(金)	第36回電子化知的財産・社会基盤研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP36.html	3月15日(木)	当日のみ	国際赤坂ビル
5月25日(金)	第37回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC37.html	3月20日(火)	当日のみ	キヤノン(株)本社
5月25日(金)	第61回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD61.html	3月23日(金)	当日のみ	日立製作所 大森ベルポート
5月25日(金)	第74回人文科学とコンピュータ研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH74.html	3月26日(月)	当日のみ	龍谷大学瀬田学舎 (滋賀県)
5月28日(月)～	第156回ソフトウェア工学・第5回組込みシステム	4月6日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月29日(火)	合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SE156EMB5.html			
5月30日(水)	情報処理学会第50回通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2007-tuijyo50.html			学会会館 (東京都千代田区)
5月31日(木)	第142回データベースシステム・第87回情報学基礎 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS142FI87.html	3月30日(金)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月31日(木)～	第165回計算機アーキテクチャ研究発表会	3月19日(月)	当日のみ	(株)富士通研究所
6月1日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC165.html			岡田記念ホール
6月1日(金)	第64回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/GN64.html	3月22日(木)	当日のみ	大阪産業創造館
6月5日(火)	第100回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/IS100.html	5月25日(金)	定員になり次第	日立目白クラブ
6月6日(水)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第1回 進化するマルウェアとセキュリティ http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
6月6日(水)～	第131回 マルチメディア通信と分散処理研究発表会	4月9日(月)	当日のみ	岩手県立大学アイーナ キャンパス
6月7日(木)	http://www.ipsj.or.jp/XOOPS/modules/xfsection/article.php?articleid=66			
6月7日(木)～	第64回プログラミング研究発表会	4月7日(土)	当日のみ	筑波大学
6月8日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO64.html			
6月8日(金)	第110回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HPC110.html	4月13日(金)	当日のみ	海洋研究開発機構 横浜研究所
6月14日(木)～	第9回バイオ情報学研究発表会	4月20日(金)	当日のみ	OIST Seaside House (沖縄)
6月15日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/BIO9.html			
6月14日(木)～	第29回高度交通システム研究発表会	4月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
6月15日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ITS29.html			
6月22日(金)	第21回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA21.html	4月20日(金)	当日のみ	日立製作所 システム開発研究所
6月22日(金)	第18回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/GI18.html	4月22日(日)	当日のみ	県立広島大学広島 キャンパス
6月23日(土)～	Visual Computing/グラフィクスとCAD 合同シンポジウム 2007	3月12日(月)		大阪工業大学情報科学部 (枚方キャンパス)
6月24日(日)	http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/vc2007/			
6月25日(月)	第65回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS65.html	2月21日(水)	当日のみ	Monte Carlo Resort
7月2日(月)～	第143回データベースシステム研究発表会 (DBWS2007)	5月15日(火)	当日のみ	秋保温泉 ホテルニュー 水戸屋
7月4日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS143.html			
7月3日(火)	第113回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL113.html	5月3日(木)	当日のみ	京都大学学術情報メデ ィアセンター
7月3日(火)～	第148回知能と複雑系研究発表会	5月18日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
7月4日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ICS148.html			
7月4日(水)～	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2007)	3月9日(金)		三重県鳥羽 戸田屋
7月6日(金)	シンポジウム http://www.dicomo.org/2007/			
7月7日(土)	第90回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE90.html	5月21日(月)	当日のみ	獨協大学
7月8日(日)～	第127回グラフィクスとCAD研究発表会	4月27日(金)	当日のみ	筑波大学総合研究棟 B棟1F
7月9日(月)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CG127.html			

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月12日(木)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第2回 ビジネスと生活を結ぶセキュリティ http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第57回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AVM57.html	5月16日(水)	当日のみ	新潟大学五十嵐キャンパス
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第38回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC38.html	5月18日(金)	当日のみ	公立はこだて未来大学
7月20日(金)～ 7月21日(土)	第67回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP67.html	5月14日(月)	当日のみ	宮城県 秋保温泉
7月26日(木)～ 7月28日(土)	第62回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD62.html	5月20日(日)	当日のみ	公立はこだて未来大学
7月27日(金)～ 7月30日(月)	第75回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH75.html 第10回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2007)	5月28日(月)	当日のみ	神奈川工科大学 (神奈川県)
8月1日(水)～ 8月3日(金)	http://www.miru2007.sys.wakayama-u.ac.jp/index.html 2007年並列/分散/協調処理に関する『旭川』サマー・ ワークショップ (SWoPP旭川2007) (発表募集: 4月17日(火) 10:00より4月27日(金) 17:00まで受付) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SWoPP2007.html	4月27日(金)	当日のみ	旭川市大雪クリスタル ホール旭川国際会議場
8月1日(水)～ 8月3日(金)	第71回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS71.html	6月1日(金)	当日のみ	ロワジュールホテル長崎 (長崎市)
8月8日(水)～ 8月10日(金)	夏のプログラミング・シンポジウム (テーマ: First Promming Languages プログラミング言語の実力と美学) http://www.atdot.net/s-prosym2007/	5月31日(木)		信州戸倉上山田温泉 ホ テル 清風園
8月23日(木)～ 8月24日(金)	平成19年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(金)		弘前大学理工学部
8月26日(日)～ 8月28日(火)	情報教育シンポジウム 2007 http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2007	5月28日(月)	当日可	三重県鈴鹿国定公園 希望荘
8月27日(月)～ 8月29日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2007 (SES2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-SES2007.html	5月7日(月)		日本科学未来館
8月29日(水)～ 8月30日(木)	DA シンポジウム 2007 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DA2007.html	5月7日(月)		遠鉄ホテルエンパイア
9月4日(火)～ 9月5日(水)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第3回 J-SOX時代のデジタル・フォレンジック http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
9月7日(金)～ 9月18日(火)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/ 平成19年度電気関係学会九州支部連合大会 (投稿受付開始: 6月18日より) http://www.jceee-kyushu.jp/ (6月1日公開)	7月17日(火)		中京大学 豊田キャンパス 琉球大学工学部 (千原キャンパス)
9月27日(木)～ 9月28日(金)	平成19年度電気関係学会東海支部連合大会 (投稿受付開始: 6月1日より)	7月27日(金)		信州大学 若里キャンパス
10月18日(木)～ 10月20日(土)	組込みシステムシンポジウム (ESS2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-ESS2007.html	7月2日(月)		日本科学未来館
10月19日(金)～ 10月29日(月)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第4回 その後の個人情報保護 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html International Workshop on Security (IWSEC2007) http://www.iwsec.org/	4月13日(金)		奈良県新公会堂
11月14日(水)～ 12月5日(水)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第5回 バイオメトリックスの現状と今後 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html APSEC2007 14th Asia-Pacific Software Engineering Conference http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
12月7日(金)～ 12月14日(金)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第6回 次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
2008年				
3月13日(木)～ 3月15日(土)	第70回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html			筑波大学
7月28日(月)～ 8月1日(金)	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet			フィンランド

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

【トピックス】

- 4月16日 人材募集情報(4月)更新しました
- 4月11日 コンピュータ博物館改訂作業にかかわるデータ入力役務の提供における競争入札公告
- 4月3日 JSTからの委託により作成した「Web ラーニングプラザ」の教材(組込みシステム技術)が公開されました
- 4月2日 連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」参加申込受付を開始しました

【学会からのお知らせ】

- 4月17日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 4月4日 2007年夏のプログラミング・シンポジウムのご案内
- 4月2日 情報処理学会第50回通常総会のご案内
- 3月23日 第69回全国大会の様子を掲載しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■京都大学情報学研究科社会情報学専攻

募集人員 助教 1名
所属 社会情報モデル講座分散情報システム分野
専門分野 情報工学または社会情報学を専門とし, 以下のいずれかの分野において, 研究業績を有すること。分散情報システム, データベース, 情報検索, Web, XML
担当科目 情報学研究科社会情報学専攻と工学部情報学科計算機科学コースにおける教育・研究
応募資格 博士の学位を有する, または着任時までに確実に取得可能な方。専門分野の研究・教育と学生指導に熱意のある方
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書(住所・連絡先(電話番号・E-mailアドレスを含む)・学歴(高等学校卒業以降)・職歴・研究歴・学会活動など社会活動歴・賞罰とその内容などを記載のもの), 研究業績リスト(原著学術誌論文, 国際会議論文(査読付き), 同(査読なし), 総説・解説, 招待講演, 著書などに分類し, 全著者名, 発表誌・機関, 年, 巻, ページなどを記載), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 現在までの研究の内容と成果(主要論文に対応させて記述; A4用紙2ページ以内), 特許などとその内容, 今後の研究計画および教育に関する抱負(A4用紙2ページ以内), 科学研究費補助金などの各種研究助成金の取得状況, 応募者に関して意見を伺える方2名の氏名と連絡先(海外の方も可)
応募締切 平成19年6月22日(必着)
送付先 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学大学院情報学研究科 社会情報学専攻長 酒井徹朗
応募書類送付の際は「応募書類在中」と朱書し簡易書留 *提出書類は返却いたしませんのでご了承ください
照会先 情報学研究科社会情報学専攻 吉川正俊 E-mail:yoshikawa@i.kyoto-u.ac.jp Tel(075)753-5975 Fax(075)753-4970
その他 提出書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用しません
選考は, 書類審査による一次選考の後, 必要に応じて面接やセミナーによる二次選考を行います。また, 適任の候補者が得られない場合には, 最終候補者を選考しないことがあります

■一関工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 助教 1名
専門分野 電子情報通信工学
担当科目 ソフトウェア工学, デジタル信号処理, 信号処理特論, 電気情報工学応用実験, 卒業研究
応募資格 着任時年齢40歳以下で博士の学位または技術士の資格を有する方, もしくは着任時までに取得可能な方。電子回路の設計製作の経験のある方。高専の教育, 研究および学生指導に熱意のある方
着任時期 平成19年9月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文など), 主要論文別刷, 教育経験歴, 高等専門学校における教育・学生指導に対する抱負(1500字程度), 推薦書
応募締切 平成19年6月29日(必着)
送付先 〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨 一関工業高等専門学校総務課人事給与係 「教員公募書類在中」と朱書
照会先 電気情報工学科 主任 今野 収 E-mail:konno@ichinoseki.ac.jp Tel(0191)24-4745
その他 内容の詳細は(<http://www.ichinoseki.ac.jp/>)を参照ください

■電気通信大学電気通信学部情報工学科

募集人員	(a)教授 1名 (b)助教 1名
所 属	(a)コンピュータ学講座 (b)ソフトウェア学講座
専門分野	(a) コンピュータサイエンス分野 (プログラミング言語, 言語処理系, インタラクティブソフトウェア, 記号処理, 数理計画法, 最適化アルゴリズムなど) (b) 計算機ソフトウェア (プログラミング言語, システムソフトウェアなど計算機ソフトウェアに関連する分野)
担当科目	(a) 電気通信学部情報工学科および大学院電気通信学研究科情報工学専攻の講義, 情報工学科卒業研究生, 情報工学専攻大学院生への研究指導 (b) 情報工学実験/演習
応募資格	(a) 博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の研究指導ができること. 研究, 教育, 学科運営に熱意があること. また教育経験があることが望ましい (b) 博士の学位 (着任までに取得見込み可) を有すること. 上の専門分野の研究実績とシステム実装能力のあること. 研究, 教育に熱意があり, 30歳代前半までであることが望ましい
着任時期	平成19年10月1日以降のなるべく早い時期
応募締切	平成19年7月16日 (必着)
その 他	【任期】 (b)のみ任期5年. ただし再任により2年以内の延長は可能 照会先, 提出書類, 送付先, 講義科目など詳細はWebページ (http://www.cs.uec.ac.jp/cs/koubo.html) を参照ください

■石川工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員	助教 1名
専門分野	情報工学
担当科目	電子情報工学実験, 卒業研究 (本科), 特別研究 (専攻科), コンパイラ, 情報数学, 符号理論, ソフトウェア工学, 情報理論, 数理計画, プログラミング
応募資格	博士の学位を有する方または取得見込みの方. 着任時の年齢が30歳未満の方. 高等専門学校での教育と学生指導, 学術研究に意欲的な方. 上記「担当科目」のすべてを担当できる方
着任時期	平成19年10月1日までの可能な限り早い時期 (予定)
提出書類	履歴書 (本校Webページからダウンロード, 本人直筆), 個人調査 (本校Webページからダウンロード, Word/pdf形式), 主要論文別刷 (コピー可), 推薦書1通 (学位取得見込みの方は指導教員)
応募締切	平成19年7月20日 (必着)
照 会 先	石川工業高等専門学校電子情報工学科 主任 金寺 登 E-mail:kane@ishikawa-nct.ac.jp Tel(076)288-8135 Fax(076)288-8146
その 他	【選考方法】第1次審査: 書類 第2次審査: 面接 (日時未定) 詳細はWebページ (http://www.ishikawa-nct.ac.jp/guide/koubo/) を参照ください

■静岡大学工学部システム工学科

募集人員	助教 1名 (任期: 5年, 再任1回可)
専門分野	音声・メディア情報処理, 知能・認知情報処理
担当科目	コンピュータ関連実習・演習の担当およびコンピュータによる講義・演習支援環境整備のスタッフとしての担当ができる方
応募資格	博士の学位を有する方 (取得見込みを含む), 着任時33歳以下が望ましい
着任時期	平成19年10月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書, 研究業績リスト (著書, 原著学術論文, 国際会議論文, 講演発表, 特許, 博士學位論文: ただし, 論文については査読付きか否かを明示すること), 査読付き論文別刷 (コピー可, 原著学術論文および国際会議論文), 推薦書 (1通), または本人に関する所見を求め得る人の氏名とその連絡先 (2名), これまでの研究業績の概要 (A4用紙1枚), 今後の教育と研究の抱負 (A4用紙1枚)
応募締切	平成19年7月20日 (必着)
送付先/照会先	〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部システム工学科 新妻清三郎 E-mail:sei@sys.eng.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1201 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
その 他	教育と研究の両方を主担当していただく予定です システム工学科についてはシステム工学科のWebページ (http://www.sys.eng.shizuoka.ac.jp/) をご覧ください

■松江工業高等専門学校情報工学科

募集人員 准教授・講師・助教のいずれか 1名
 専門分野 情報工学, ネットワーク
 担当科目 情報ネットワーク, プログラミングなど
 応募資格 原則として採用時まで博士の学位を有し27歳以上50歳未満の方
 着任時期 平成20年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(コピー可), これまでの研究概要(A4用紙1000字程度), 教育・研究に対する抱負(A4用紙1000字程度), 推薦書または紹介状(自薦可)
 応募締切 平成19年7月20日(必着)
 送付先 〒690-8518 鳥根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校 総務課人事係 Tel(0852)36-5112 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 学科長 藤井 諭 E-mail:fujii@matsue-ct.ac.jp Tel(0852)36-5241
 その他 【選考方法】書類選考および面接(模擬授業を含む)
 詳細は本校Webページ(<http://www.matsue-ct.jp/>)をご覧ください

■宇部工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助教 1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 情報処理関連科目, 実験・実習, 卒業研究, 特別研究など
 応募資格 採用予定時の年齢がおおむね35歳までの方. 博士またはPh.Dの学位, あるいは技術士の資格を有する方, もしくは平成19年9月末までに取得見込みの方. 情報工学系学科出身の方. 高専の教育・研究および学生指導(学級担任, クラブ指導, プログラミングコンテストなど)に熱意のある方
 着任時期 平成19年10月1日(予定)
 提出書類 履歴書(市販用紙に本人自筆, E-mailアドレスがあれば記入), 著書・論文リスト(A4用紙を用いて, 学術論文・著書・研究発表・その他に分類して, 発表年月, 巻, 号, ページを付して発表年月順に記載すること. 共著の場合には共著者をすべて記入すること. 論文については査読の有無を明記すること), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 高専における教育・研究および学生指導に対する抱負(1000字程度)
 応募締切 平成19年7月31日(必着)
 送付先 〒755-8555 山口県宇部市常盤台2-14-1 宇部工業高等専門学校総務課人事係 「応募書類(制御情報工学科)在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則返却しない
 照会先 制御情報工学科長 山根健治 E-mail:yamanek@ube-k.ac.jp Tel(0836)35-4989 Fax(0836)21-7117
 その他 【選考方法】(1)一次選考:書類審査 (2)二次選考:一次選考合格者に対してのみ面接審査(実施日時は, 後日一次選考合格者に直接お知らせします)

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報処理学専攻

募集人員 教授 1名(任期付き)
 所属 計算機言語学講座
 専門分野 プログラムやソフトウェアの検証に使われる形式的な手法, たとえば, 定理証明, モデル検査, 充足性検査などのアルゴリズムやシステム, それらを用いて現実システムを検証する方法論など
 応募資格 博士の学位を有し, 今後の日本における高信頼ソフトウェア分野の発展のため, 上記分野について日本語で十分に教育できる方
 着任時期 平成19年10月1日以降
 提出書類 履歴書, 研究歴(学術雑誌の編集委員, 国際会議のプログラム委員など学術的貢献, および産業技術上の貢献も含めてください), 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議などに区別), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 主たる研究概要(2000字程度), 今後の研究計画(2000字程度), 教育に対する抱負(2000字程度), 推薦書2通, または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mail)
 応募締切 平成19年7月31日(必着)
 送付先 〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 島津 明
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または書留
 照会先 情報科学研究科 研究科長秘書 E-mail:misae@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1155(直通) Fax(0761)51-1149(事務室)
 その他 【任期】10年(再任あり):本学では, 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制を導入しています. Webページ(http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/houjin/kisoku/index.html)をご参照ください
 【選考方法】これまでの業績および必要に応じ照会者の意見を参考に選考いたします. 業績については, 学会論文の数などによらず, 主要な業績の内容, 内外の評価などを考慮します. また, 業績については論文だけでなく, 産業技術上の貢献についても評価いたします. なお, 評価が同等の場合, 女性, 外国人を優先します. 選考の途中で, 提出いただいた資料に関する説明や, 講演などをお願いすることがあります
 本学に関する詳しい情報は, Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/>)をご覧ください

■ (株)豊田中央研究所

募集人員 正社員 1名
職務内容 大規模科学技術計算向け数値解析法(特に行列・固有値問題や数値積分)の開発ならびにCAE実問題への応用
応募資格 職務内容に関連した研究・開発の経験を有する修士以上の方
着任時期 できるだけ早期を希望(相談に応じます)
提出書類 応募職種・職務内容を明記の上, 次の書類をお送りください:履歴書, 職務歴(研究実績), 論文リスト, 主要論文別刷(コピー可)
応募締切 平成19年7月31日(必着)
送付先/照会先 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1 (株)豊田中央研究所総務部採用担当 羽田, 高野, 宮崎
E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744
その他 Webページ (<http://www.tytlabs.co.jp/>)

ISO/IEC JTC 1/SC 29 国際幹事の担当になってから6年が経ちました。2002年10月以降は、SC 29 総会のほかWG 11 (MPEG) 会合にも出席するようにしており、国際会議への出席は2007年1月で20回になりました。

WG 11 は、現在でも JTC 1 の中で一番アクティブな Working Group ではないかと思えます。年4回の会合には20数カ国から約350人が参加しており、毎会合、積極的な技術提案がされ、IS 開発をしています。2004年5月号のおふいすらんでは、MPEG-A が誕生したことを紹介しましたが、MPEG シリーズも MPEG-E ができ、今、ニックネームのないシリーズが Committee Draft 段階にあります。次回の4月会合では約70のプロジェクトが次段階へ進む予定です。

WG 11 会合に初めて参加したときから、aggressive な雰囲気は変わりませんが、参加者の構成は変わりつつあります。韓国からの参加者は激増しており、日本人参加者の倍になっていま

す。Editor の引受け数も増えており、以前は IS のドラフトに日本語フォントが紛れ込んでしまっていて探すのに苦労したのですが、今は韓国語フォントで苦労しています。中国も積極的に年1回は会合招致を行っており、参加者は増加しています。こうした韓国・中国勢の台頭による参加者構成の変化に伴い、やはり日本の presence は低下しているように思います。日本勢にはなんとか頑張り続けてほしいと願っています。

MPEG を「観察」していると、標準化に関する細かなルールを知っていることはあまり重要ではなく、会合に継続的に参加し、提案を通せる方が活躍しているようです。継続的参加を可能にするには、よく言われておりますように、日本の企業のトップの方が標準化の重要性を理解し、標準化活動を尊重していただくことが必要だと思います。ぜひ標準化活動に参加しやすい環境を作っていただきたいと思います。

(小倉由紀子/規格部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください!

[6月10日頃までにお出しください]

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4805.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2007年5月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
特集: 地域サービスの高度化に向けて
1. 公共サービスのあるべき姿とその実現に向けた取り組み 公共情報インフラの設計と実践 10-1-
2. 複数サービスの連携システム開発における SOA デザインパターン技術 10-2-
3. サイトを越えるサービス連携における認証・認可, プライバシー情報保護技術 10-3-
4. サービス利用者のニーズを加味したサービス情報 (サービス運用条件等) の管理制御技術 10-4-
5. 複数組織がかかわるビジネスプロセスを改善するためのモニタリング技術 10-5-
小特集: IT フォーラムへの誘い
1. IT フォーラムへの誘い 10-6-
2. サービスサイエンスフォーラムへの誘い 10-7-
3. IT アーキテクト/IC/O フォーラム 10-8-
4. ユーザスタディフォーラム 10-9-
5. イノベティブ社会基盤フォーラムの取り組み 10-10-
6. Web 2.0 フォーラム 10-11-
7. 福祉情報システムフォーラム 10-12-
8. IT ダイバーシティフォーラム 10-13-
9. 高度 IT 人材育成フォーラム 10-14-
10. イノベーションを生み出す鍵がここにある 10-15-
小中学生を対象としたロボット競技会と総合理科教育 10-16-
これからの情報処理学会: 情報処理技術者の地位の向上を目指して 10-17-
これからの情報処理学会: 通信する情報と処理する情報 10-18-
「情報学を創る」一科研プロジェクトがめざしたもの: ICT は科学の発展に役立つのか? 10-19-
標準化よもやま話: 規格とスクーバダイビング 10-20-
研究会千夜一夜: 表現力の向上を目指して 10-21-
研究会千夜一夜: IS 研究会の 100 回記念研究発表会を迎えるにあたり 10-22-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回、ゲストエディタとして特集に携わることを光栄に思います。私は、公共システムのシステムエンジニアである立場から、特集をまとめるにあたり、2つの観点を読者の皆様にお伝えしたいと考えました。

1点目は、技術応用の研究の重要性です。研究活動では、基礎理論を中心としたコンピュータサイエンスだけでなく、実践に近い情報システムのための研究開発まで幅広く実施されています。これらの研究活動がうまく連携することで、誰もが恩恵を受けられる技術開発が可能になります。今回は、地域サービスの社会的基盤となる情報システムに向けた活動として、施策面、技術面からの記事を組ませていただきました。

「バベル」は深く引き込まれる映画だ。国内でも公開されたのでご覧になった方もあるだろう。私は、過日、成田へ戻る機中で観た。奇妙にも、映画を観ている間、最も念頭に浮かんだ言葉は「不都合な真実」だ。地球温暖化を警告するアル・ゴアの本の邦題である。この映画は、現代社会、あるいは、人間が根源的に持つ不都合な真実を描いているように思える（内容は観てのお楽しみとしてここでは触れない）。ただ、内容以上にこの映画がユニークなのは、映画を観客に見せる手段がとても不都合に思えることだ。全編を通して、英語のセリフはとても少ない。舞台は、ガイド以外は英語が通じないモロッコの山中、東京、メキシコとそのアメリカ国境。その上、東京のシーンの主役は、言葉を発することができな

い女子高生チエコ。SFXを駆使した刺激的なシーンや饒舌な会話が続くハリウッド流映画とは対極にある。だが、「バベル」のメッセージは強烈だ。

我々、IT技術者は、便利で都合の良い世界を目指して、日夜、働いている。都合の良いメディアの氾濫は、目先は奪うが、心や思考の裏にまで届いているだろうか？ 光が強くなれば影も濃くなるように、現代社会の情報化が進展する一方で、その影も濃さを増す。ITの「不都合な真実」に、技術面だけでなく、社会全体の視点から、我々は眼を向ける必要があるのではないだろうか？

(宮本大輔／本特集エディタ)

い女子高生チエコ。SFXを駆使した刺激的なシーンや饒舌な会話が続くハリウッド流映画とは対極にある。だが、「バベル」のメッセージは強烈だ。

我々、IT技術者は、便利で都合の良い世界を目指して、日夜、働いている。都合の良いメディアの氾濫は、目先は奪うが、心や思考の裏にまで届いているだろうか？ 光が強くなれば影も濃くなるように、現代社会の情報化が進展する一方で、その影も濃さを増す。ITの「不都合な真実」に、技術面だけでなく、社会全体の視点から、我々は眼を向ける必要があるのではないだろうか？

(青山幹雄／本小特集エディタ)

次号 (6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」非接触 IC カード技術とその展開

非接触 IC カード技術の外観と展望／非接触 IC カード技術 FeliCa／非接触 IC カードと通信技術の融合／非接触と接触両用 IC カードの実装技術と適用例／交通系サービス／「いつでも、どこでも、だれでも」利用できる決済サービスを目指すブリバイド型電子マネー "Edy (エディ)"／流通系・マーケティングサービス

「特集」教育用プログラミング言語と授業利用

教育用プログラミング言語の動向／情報教育におけるプログラミング利用の可能性／情報科学教育への利用／制御教育への利用／情報教育における音楽の利用、音楽教育における情報教育の利用／教育用プログラミング言語を利用した教科教育と情報教育

解 説

観光情報システムの現状と展望..... 井出 明
モバイル端末のためのユーザインタフェース (1) 表示対話技術 旭 敏之 他

連 載 グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術／これからの情報処理学会／「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの

コラム 研究会千夜一夜／標準化よもやま話

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻5号 掲載広告（五十音順）

- | | | | |
|--|------|--------------------------------------|------|
| <input type="checkbox"/> インタフェース…………… | 表2 | <input type="checkbox"/> 自動車技術会…………… | 前付3 |
| <input type="checkbox"/> オー・ティ・ビー…………… | 前付2上 | <input type="checkbox"/> 精機通信社…………… | 目次前 |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… | 表2対向 | <input type="checkbox"/> 培風館…………… | 前付2下 |

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)		
TEL	(_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375